

知識探訪

多民族社会の横顔を読む

協力：日本マレーシア学会 (JAMS)

中国の対東南アジア政策とマレーシア

佐藤考一 (桜美林大学リベラルアーツ学群教授)

中国の対東南アジア政策には 2 つの大きな目標がある。第一は、2013 年に習近平国家主席がカザフスタンとインドネシアを訪問した際に提案した「一帯一路」(陸のシルクロード・ベルト、21 世紀の海のシルクロード)によるインフラ整備と貿易投資の拡大。中国主導で、東南アジア諸国連合 (ASEAN) を含むアジア諸国からアフリカ・欧州までの経済関係の発展を狙うものだ。第二は、12 年の中国共産党大会で提起され、習主席が主導する「海洋強国」政策で、中国海軍・海警・漁船の動員で、漁業およびエネルギー資源の豊富な南シナ海の島礁の占拠・軍事化と海域の実効支配の強化を目指すものだ。

これらの政策が完成すれば、中国はシー・パワーとしての地位を確立し、ASEAN 諸国に経済的・軍事的に強い影響力を行使できる。ASEAN 諸国にとって望ましいのは、日米中など、全ての域外大国がバランスよく穏やかに進出してくれることである。だが、現在プレゼンスが突出しているのは中国だけで、なかなか ASEAN 側の思うようにはならない。ブルネイは中国との海洋エネルギー資源の共同開発に従事しており、抵抗を諦めているように見えるし、フィリピンも 13 年に仲裁裁判に訴えた当時の勢いはない。

中国は「一帯一路」政策で、マレーシアではジョホールやマラッカ、クアantan、サマラジュ等の港湾や工業団地、東海岸鉄道、天然ガス・石油供給用の 2 本のパイプラインの建設などに関わってきた。中国は同様に、インドネシアでは北スラウェジの空港・港湾、北スマトラの港湾、ジャカルタ バンドン間を結ぶ高速鉄道などの建設に関わり、ラオス、タイでは鉄道、カンボジアでも港湾など多くのインフラ建設を実施している。費用や投資の分担、開発権、鉄道の経路などを巡っては、インドネシアやタイとは摩擦もあったといわれる。マレーシアでは、親中派のナジブ前政権の下で摩擦はほとんど表面化しなかったが、「一帯一路」の壮大な計画への中国の融資能力には限界があることは、中国人研究者も認めていた。

「海洋強国」政策では、中国とマレーシアの間でも、競合している南シナ海の島礁の主権をめぐる緊張が高まっている。マレーシア政府はスプラトリー諸島の 5 つの島礁を埋め立て、1987 年以降、スワロー礁に海軍の守備隊を送り、95 年には滑走路も整備した。空軍は数年前に、F/A 18 D 戦闘機の離着陸試験を実施したといわれる。最近では占拠していないルコニア礁の周

辺などに中国海警船艇が出てくるため、日本の海上保安庁の協力で設立したマレーシア海上法令執行庁 (MMEA) の船艇を対峙させて、中国の占拠を防いでいる。

今年 5 月に 15 年ぶりに政権に返り咲いたマハティール首相は、8 月の訪中で中国に資金難を訴え、東海岸鉄道 (総額 200 億米ドル、約 2 兆 2,400 億円) と 2 本のパイプライン (総額 23 億米ドル) の建設中止を決めた (金額は The Straits Times 報道)。中国の顔を立てて、問題はナジブ前政権の杜撰な計画にあるとして中国と交渉したのである。では、南シナ海紛争にはどう対処するか。6 月に訪日したマハティール首相は安倍首相との共同記者会見で、マラッカ海峡と南シナ海での全ての国の航行の自由を認めるべきだ、との点で一致した。マハティール首相は South China Morning Post が報じたように、互いに軍艦を対峙させるのではなく、ASEAN 諸国と域外諸国の海上保安機関の小型船艇の巡視協力による秩序維持を望んでいるといわれる。

米国にリムパック海軍合同演習への参加を拒否された中国は、8 月に ASEAN 諸国と初の海事合同図上演習を行い、10 月には捜索救難合同演習を実施することを呼び掛けた。こうした状況の下で、マレーシア政府は今後も中国との露骨な対立は避け、貿易・投資・観光などの経済関係は維持しながら合理化を図り、日米などの他の域外大国の経済・安保協力を促してバランスを取ろうとするだろう。老練なマハティール首相の外交手腕に注目が集まっている。

< 筆者紹介 >

1960 年生まれ。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修了。博士 (学術)。専門は、海洋安全保障、ASEAN を巡る国際関係、シンガポール・マレーシアの政治・経済・文化。近著に『中国脅威論』と ASEAN 諸国』(単著、勁草書房、2012 年)、『ASEAN を知るための 50 章』(共著、明石書店、2015 年)、『習近平が変えた中国』(共著、小学館、2018 年)、『獅子の町・海峡の風』(単著、めこん、2004 年) など。